

柏原市の小・中学校の給食を無料に！ 「子育て世代に優しい」まちづくりを！

この10月に大阪府は、増え続ける給食費滞納対策として、弁護士に回収を委託することを発表した。2015年度は滞納額が8600万円、累積滞納残高が2015年度末で1億1300万円という。



確かに、この中には悪質で、払えるのに払わないという保護者もいる。しかしながら、払う意志があっても払えないという人もいるのではないだろうか。生活保護を受けないギリギリのラインで頑張っている保護者、たいへんな状況の中で、必死になって毎日を作りくりしながら過ごしているという人は少なからずいるはずだ。

か月2000万円かかることになる。かなりの金額になるが12年近く柏原市の財政を見てきたがかなりの税金の無駄な使用方をしている。

例えば、前任者岡本氏は亀の瀬、雁多畑地区の処分地、サンヒル柏原等に莫大な税金を使っていた。(百条委員会を

立ち上げされたが説明することができなかった。何故？できなかった理由は「税金の使われ方を小池都知事の方でオープンに精査すれば捻出できると考えられる。未来を担う子どもたちの健康を考えると決して無駄金ではない。子どもに手厚い手

柏原市では、山西敏一氏が柏原市長であった頃(2005年まで)は、柏原市では後期高齢者に、年に1度、3000円のお祝い金が贈られていた。戦後の苦しい時代、黙々と働き続け、高度成長期を支えてきた高齢者に対する敬意の表れである。

「下流老人」とは、生活保護基準ぎりぎりまで暮らす高齢者のことである。その割合がどんどん増えてきている。その人たちにとって3000円という額は大きい。税金の使い道をきっちりオープンにし、1円でも無駄にしないように使い道を適切に振り分ければ、お祝い金を捻出できるはずである。

しかし、その後市長になった岡本泰明氏は、あっさりこの制度を廃止した。高齢者の生活は厳しい。そして、また年金がカットされることになった。ある試算では、国民年金は年間4万円、厚生年金なら14万円も下がる見通しである。

中野市政になってからも、不透明な無駄の多い市政が続いている。そして、市は今、

すでにこの4年間で公的年金は3.4%も下がっているのに、さらに追い打ち

をかけた。そして、市は今、

借金してまで、買わずに高齢者や弱者のために税金を使うべきである！



市民で納税もしているのに可してもらっても良いと思っ

12月6日、中谷府議の無断駐車、憤懣に放映(毎日放送)された！

年金カット、保険料の負担増！ 借金してまでの土地買収をやめて、 後期高齢者にお祝い金を！

市民にフルオープンの無料駐車場を中谷府議、事務職員らが無断駐車していたのである。事務所の駐車場は一台分である、その一台分にいつも大阪維新の会の街宣車が常時使われているのだが？
選挙期間中は維新関係者の多くが市の駐車場を使っていた。市民も職員たちも不法に使われていることを認識していたが、市のトップは維新公認の中野市長、親密である中谷府議も維新公認である、飛ぶ鳥を落とす勢いの維新に物申すことできにくい、市民も恐れずに権力者にNOというべきである。弱者の声が大きくなれば市も変わります！今回の市民の声賞賛すべきである！

